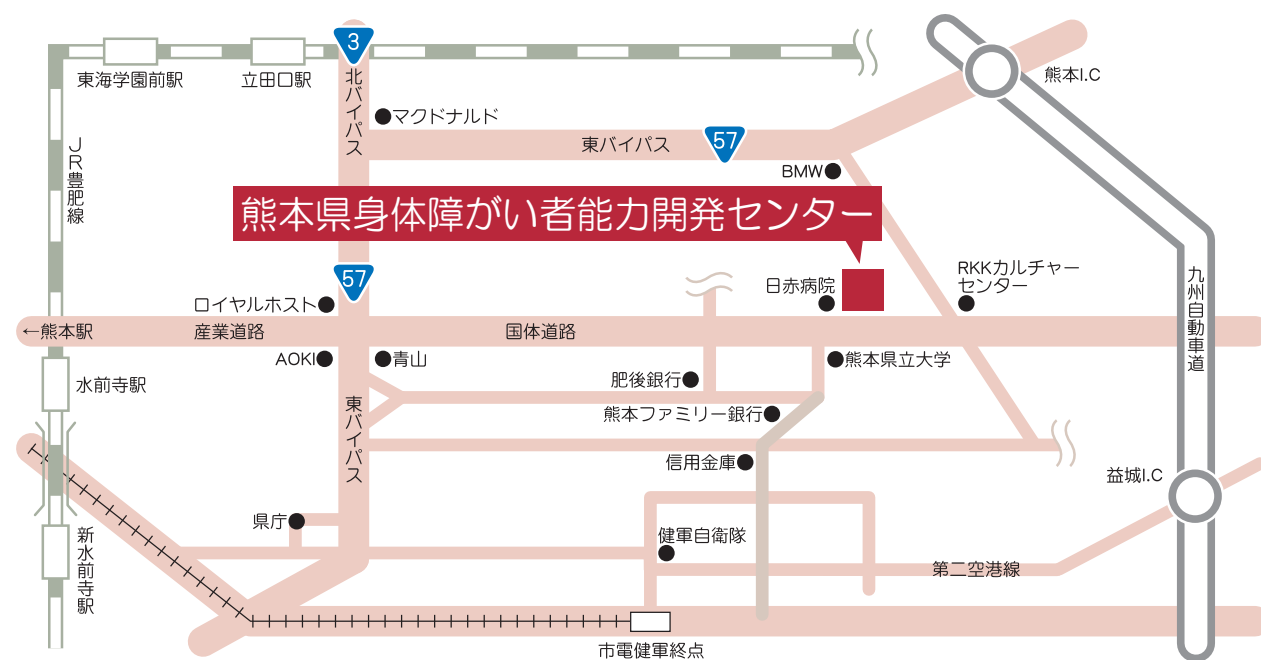


施設利用手順

- 1 利用相談** まずは、お電話等でお問い合わせ下さい。
- 2 施設見学** 施設見学を行って下さい。また、当センターのサービス内容を理解して頂くため体験入(通)所をおすすめします。
- 3 市町村**
申請：利用可能であれば、市町村に支援費の支給申請をします。
調査：市町村より支給担当者が障害程度・生活環境等の聴き取りを行います。
支給決定：市町村より支援費の支給と利用負担額が決定され、障害福祉サービス受給者証が交付されます。
- 4 施設利用** 施設と利用契約を締結し、入(通)所によるサービス開始となります。

アクセスMAP



- 交通センター「27番のりば」から市営バス「日赤・長嶺団地」又は「保田窪・長嶺団地」行きを利用。
- 交通センター「14番のりば」から産交バス「免許センター・パークドーム」行きを利用。
- 市電健軍終点から市営バス「東町団地経由日赤・長嶺団地」行きを利用。
- ※いずれも「身体障害者福祉センター前」で下車。
- JR豊肥線、水前寺駅下車。バスの場合水前寺駅前から「保田窪・長嶺団地」行きを利用。「身体障害者福祉センター前」で下車。タクシーの場合15分。
- 高速道路利用の場合、下り線は熊本I.Cを出て市内方面（東バイパス）経由で10分。上り線は益城I.Cを出て市内方面（第二空港線）経由で10分。

各交通機関

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
●●● 指定障害者支援施設 ●●●

熊本県身体障がい者 能力開発センター



〒861-8039 熊本市東区長嶺南2丁目3番2号
TEL096-381-4413 FAX096-382-4477
E-mail nokai@ina.bbiq.jp
HP <http://www1.bbiq.jp/k-jig/nokai/index.html>



パソコン PC training

パソコンの操作について、利用者各個人のゴールに合わせた個別訓練を行います。具体的には、日常生活に役立つパソコンの利用方法や、文字を打ち込むタイピングの練習を行ったり、また、ワードやエクセル等の就労時に役立つアプリケーションの操作方法の訓練を行います。



基礎訓練 Basic learning

脳の活性化を目的とした訓練を行っています。簡単な計算問題から、漢字の書き取り、ぬり絵、ビーズアートなど様々な訓練を用意して、それぞれの方に合った訓練を行っています。脳を活性化させることにより、記憶力やコミュニケーション能力の向上につながります。



軽作業 Light work

各種の作業を、利用者の障害特性に合った作業工程に振り分け、障害に適した作業方法を模索しながら作業効率の向上を図ります。写真は、フルーツネットを裏返したり、折ったり、束ねたりしている様子です。



健康管理・栄養管理

Health care / nourishment management

地域で安定した生活が送れるように、健康診断や通院服薬管理、栄養管理及び清潔保持等の支援を行います。生活介護に関しては、嘱託医による健康相談を行い、健康の維持管理を支援します。



社会生活訓練 Social life training

利用者一人一人と、十分な相談を踏まえて個別に支援計画を作り、利用者の生活の質（QOL）の向上を目指して、社会復帰・社会参加の支援やそれにとりもなう心理的支援を行います。



調理実習



外出訓練

相談支援 Consultation Room

各種相談、経済的支援、各種申請支援、生活環境支援、アパート探し、社会参加支援等。



その他の訓練 Others

一人一人の希望や必要性に合わせて、曜日毎に異なった訓練を行っています。

麻雀

書道

カラオケ

絵画



レクリエーション -Recreation-

バスに乗ってみんなで遠出をしたり、当センターで忘年会やバーベキューを行うこともあります。また他の催し物に参加もします。

車いすふれあいジョギング大会



九重夢大釣橋



忘年会



自立訓練(機能訓練)

自立した日常生活・社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の向上等の訓練を行います。(定員30名)

生活介護

介護を必要とする人に、日中・入浴等の支援を行います。障害程度区分3(施設入所支援事業を利用する方は区分4)以上。年齢が50才以上の方は、障害程度区分2(施設入所支援事業を利用する方は区分3)以上の方が対象となります。(定員10名)

施設入所支援

施設入所者に、夜間や休日に食事や入浴等の支援を行います(定員30名)。自立訓練(機能訓練)利用者で、通所が困難な方は利用できます。



のうかい

PT 理学療法 Physiotherapy



一人一人の目標や身体状況に合わせた理学療法を行い、身体機能の維持および向上、代償能力・残存能力の拡大および強化を目指します。様々な器具を使った運動療法、ホットパックや電気治療などの物理療法、時には理学療法士が個別に関節を動かしたり、筋力トレーニングと一緒に実施します。また、住宅改修や、福祉用具の申請の援助などを行い、自立した生活が送れるよう支援します。

理学療法士1名、作業療法士1名、リハ助手1名の計3名のスタッフで行っております。月～金曜日に訓練を実施しております。



OT 作業療法 Occupational therapy

障がいのために難しくなった生活で行う活動をその方にあった方法でできるよう支援します。たとえば脳血管障がいや麻痺がある方は機能的に手が使えるように、重度の麻痺の方はできる力を伸ばしながら、自助具などの道具を利用して生活が少しでもしやすくなるよう支援します。当センターでは、個別訓練では関節を作業療法士が伸ばしたり、訓練メニューを提案して実施しています。自主訓練では、手工芸など手の運動の練習を行っています。また、高次脳機能障害に対する訓練も行っています。



理学療法・作業療法の他に、必要がある方は失語や嚥下障害に対する対応もしています。



寮の様子 Dormitory

寮の部屋は3人部屋です。入浴は自立して行えるよう、手すりの設置や段差が少ない作りになっています。洗濯や部屋の掃除等も自立できるよう支援します。寮の掃除も週を決めて、出来る限り自分自身で行うようにしています。自由時間は利用者同士で談話したり、テレビを見たりして過ごしています。また、近くにスーパー等がある為、買い物をすることもあります。



お部屋



お風呂



食事



ラジオ体操



週替りの様子

数名で共有スペースを掃除します。

Aさんの1日(入所)

7:00 起床
7:30 朝食
8:30 ラジオ体操
9:00 朝礼(月曜日のみ)
訓練
12:00 昼食
13:00 訓練
16:00 自由時間
17:20 夕食
18:00 入浴
22:00 卓呼
23:00 消灯

職員と一緒に毎朝します。

	1	2	3	4	5	6
月	PT/OT	PT/OT	基礎訓練	パソコン	軽作業	書道
火	PT/OT	PT/OT	基礎訓練	パソコン	軽作業	軽作業
水	PT/OT	PT/OT	基礎訓練	パソコン	軽作業	軽作業
木	PT/OT	PT/OT	基礎訓練	革細工	革細工	軽作業
金	PT/OT	PT/OT	基礎訓練	パソコン	絵画	絵画
土	基礎訓練	軽作業	軽作業			

Bさんの1日(月・水・金通所)

6:00 起床
6:30 朝食
7:20 バス乗車
8:30 能南センター到着
9:00 訓練
12:00 昼食
13:00 訓練
16:00 バスにて帰宅
17:00 入浴
18:00 夕食
21:00 就寝

当センターの目の前にバス停があります。

	1	2	3	4	5	6
月	基礎訓練	軽作業	パソコン	PT/OT	PT/OT	カラオケ
火	ホームヘルパーにより家事支援					
水	基礎訓練	軽作業	PT/OT	囲碁・将棋	囲碁・将棋	PT/OT
木	ホームヘルパーにより家事支援					
金	基礎訓練	軽作業	PT/OT	PT/OT	絵画	絵画
土						

自宅での障害サービスにて、ヘルパーさんの支援も受けておられます。



通所中(バスにて)



談話

昼休み中です。